

津島線の歴史

(明治31) 04.03	津島駅開業(尾西鉄道・弥富～津島間開通)
(大正3) 01.23	名古屋電気鉄道 津島線・枇杷島橋～新津島8.8mile(14.1km)開通 西枇杷島・新川橋・須ヶ口・甚目寺・七宝・木田・青塚・勝幡・藤浪・新津島駅が開業 なお藤浪駅は、諏訪駅として建設されたが、開業直前に藤浪駅と改称した柳橋～押切町～新津島に電車が走る
(大正3) 07.03	新居屋駅が開業(甚目寺～七宝間)
(大正4) 07.24	津島口駅が開業(藤浪～津島間)
(大正10) 07.01	名古屋電気鉄道が地方鉄道事業(一宮・犬山・津島線)を名古屋鉄道へ譲渡 名古屋電気鉄道は大正11.8.1に名古屋市へ市内線を譲渡し、会社を解散する
(大正14) 08.01	名古屋鉄道が尾西鉄道を合併。 弥富～津島～新一宮～木曾川橋は名鉄尾西線となる
(昭和5) 09.05	名古屋鉄道は美濃電気軌道を合併(8/20)し、社名を名岐鉄道と変更
(昭和6) 10.25	津島線新津島駅を、尾西線津島駅に統合 (名鉄100年史では昭和7年となっているが、昭和6年が正)
(昭和10) 08.01	名岐鉄道は愛知電気鉄道と合併、社名を再び名古屋鉄道と変更
(昭和16) 08.12	新名古屋(現:名鉄名古屋)～枇杷島橋間開通。津島線から新名古屋駅へ直通運転開始 枇杷島橋～須ヶ口間が津島線から名岐線(現:名古屋本線)に編入
(昭和19)	新居屋駅、津島口駅が休止(昭和44.4.5廃止)
(昭和19) 09.01	神宮前～新名古屋間の東西連絡線開通 名古屋南部の工場への戦時輸送のため突貫工事で建設された。 西部線と東部線で電圧が異なり、電車の直通が出来ず、金山橋乗換であった
(昭和23) 05.12	津島線の電圧600Vを1500Vに昇圧(名岐・犬山・一宮線と同時)
(昭和23) 05.16	東西直通運転(岐阜～豊橋)開始。津島線の電車も神宮前折り返しに
(昭和27) 12.14	尾西線の電圧を600Vを1500Vに昇圧。津島線の列車が弥富まで直通運転開始
(昭和34) 09.26	伊勢湾台風来襲、名鉄は大きな被害を受ける。津島線も冠水
(昭和39) 07.01	津島駅の貨物営業廃止(津島駅高架化工事のため日比野駅へ集約)
(昭和40) 12.15	津島線に特急列車運転開始

(昭和42) 04.10	津島線に7000系パノラマカー運転開始
(昭和42) 12.17	津島駅付近の津島線と尾西線の津島以南高架化、尾西線津島～佐屋間複線化
(昭和43) 05.03	津島駅付近の尾西線津島以北高架化、津島駅付近1.6km高架化工事完成
(昭和43) 09.03	津島駅新駅舎・駅ビル完成
(昭和48) 11.12	津島線にディーゼル特急を新設。津島線初の定期座席特急。キハ8000系を使用
(昭和51) 12.21	津島駅で6000系の出発式を開催
(昭和56) 01.08	朝間帯混雑時に津島線で8両運転を開始
(昭和63) 04.01	須ヶ口駅新駅舎・南北連絡橋完成
(平成12) 09.11	東海豪雨で新川決壊、須ヶ口駅と新川検車区・車両が水没
(平成14) 07.13	勝幡～津島駅間2.5km高架化完成、藤浪駅が高架駅となる
(平成17) 05.17	新川検車区改良工事完成。空港線開通に伴う留置線増設等
(平成17) 10.02	津島駅バリアフリー化工事完成
(平成22) 12.01	木田駅南口駅舎を開設
(平成23) 02.26	甚目寺駅北口駅舎を開設
(平成26) 03.02	勝幡駅南口駅舎を開設